

金沢大学法学類月報

第5号 2014年2月25日発行

編集・発行：金沢大学法学類広報委員会
協力：金沢法友会法学類広報プロジェクト



定期試験も終わり、学生は春季休業へ。角間では春は名だけの風の寒さです。法学類月報第5号では、村上裕准教授の紹介、公認サークル金沢法友会が手がける法教育のプロジェクトのほか、金大卒業生で弁護士の長瀬貴志さんからご寄稿を頂いた法学類生へのメッセージをお届けします。



◆連載◆ 法学類の先生 第4回 村上裕先生（商法担当）

宮城県生まれ・育ち→福島大学+同大学院→東北大学大学院→金沢大に着任という、生粋の寒冷地仕様です。地元に戻ると、3・11による被害の爪痕は今でも至る所で見られます。そこで最近、被災地で農業・漁業等の事業活動を行う地元の方に対してインターネットを通じて多数の人が少額の出資を出し合う被災地支援ファンドに出資しています。学問的には、クラウドファンディング（crowdfunding）と呼ばれます。出資先の1つである苺農園を訪問する機会がありましたが、そこで採れた苺の大変おいしいこと！復興の味を感じると同時に、出資した甲斐があったと思わずにはいられませんでした。

私の専門分野でお話すると、株式会社も多数の人からの出資に基づいて事業を行う点で、被災地支援ファンドと似ています。もっとも「出資」「株式会社」と聞くと、「馴染みがない」とか「うさんくさい」とか思うかも知れません。しかしそう最初から切り捨てずに、何にでも興味・関心を持ってみてはいかがでしょうか。それがあなたの見識とあなた自身を磨くことにつながるはずです。



金沢法友会（法教育研究部会）

例えば、生徒に「廊下を走らない」というルールを守らせるとします。その際、単に「これは規則だから」と言うだけでルールは守られるのでしょうか。むしろ生徒自身が「なぜこのルールが必要なのか」と考え、他の生徒との意見交換を通じて、「皆が安全でスムーズな通行をする

ためにこのルールが必要だ」と実感し納得したほうが、ルールは守られやすいのではないでしょうか。

条文や判例といった法の知識を丸暗記するのではなく、法（ルール）の基礎にある正義や公正といった価値へとさかのぼって考え、各自が自発的に意見を表明することに

よってルール of 価値を確認する。物事の「正しい判断・解決のプロセス」を実感するための法教育は、人々が自分らしく生き、かつ他者とうまく共存し社会を構成していくことに、大いに役立ちます。

法教育研究部会は、金沢法友会が手がけるプロジェクトの一つを担う部会です。法教育の研究と実践を目的として、法を学ぶ学生の立場から、法教育を普及させるための活動を

展開しています。金沢大学と滋賀県立虎姫高校との高大連携講座においては、毎年自前の教材を用いた法教育の実践授業をしているほか、法教育教材コンクールに教材を出品し、3年連続入賞を続けています。様々な場への法教育出前授業などを計画していますので、興味のある方はまずご一報ください。

(dt1206@stu.kanazawa-u.ac.jp)

法学類 2 年 竹山大智

「勉強のすゝめ」

金沢大学法学部の卒業生であり、福本知行准教授の同期として一言。死ぬほど勉強をしてください。大学に入学するということはそういうことです。やる気も忍耐力もなく勉強をしない者は大学には不要ですし、

そのような人は社会に出ても役に立ちません。私は弁護士になる前に石川県庁の職員をしていましたが、その採用面接の時に、大学時代に何をやっていたかと聞かれ「勉強です」と答えて合格しました。そんなもんです。そして、私がこれまで見てきたすごい人たちは、社会人になっても必死に勉強しています。社会は個人の事情を無視して絶えず流れ続けます。社会に置き去りにされないためにも勉強は必須です。勉強し続ける力を養ってください。

せっかく大学に入学したのに勉強ばかりじゃつままない、と思うかもしれません。至極全うです。であれば睡眠時間を削って勉強なり遊びをすればよいだけです。簡単です。社会に出たら、責任ある仕事を2、3日徹夜でやることもあります（東日本大震災の時は官僚をしていましたが、当時霞が関の電気が消えることはありませんでした）。今のうちにその程度のことのできないようであれば、やはり社会ではやっていけません。

目の前のやらねばならないことすらできないのであれば、あなたは今後の人生で何も達成できません。裁判官をしていたとき、少年事件を担当したことがあったのですが、自分の弱さから逃げ回るだけで何かに挑むということをしなない者は結局成長せず、同じ失敗を繰り返すばかりでした。

せっかく法学類に入ったのですから、挑むつもりで一度法律を死ぬほど勉強してみたいかがでしょうか。意外と楽しいかもしれませんよ。そして気が付いたら法律家になっているかもしれませんよ。

山崎法律事務所・弁護士 長瀬貴志（平成10年3月法学部卒）



- 法学類の学生、卒業生、教員に関するイベント等の情報を、ぜひお寄せください。
- 関係者の皆様のご寄稿を歓迎します。採用された方には、法学類グッズを進呈します。
- 本誌のバックナンバーは、法学類 HP (<http://www.law.kanazawa-u.ac.jp/home/geppo>) に掲載していますのでご覧ください。
また、メールでの定期配信（無料）をご希望の方は、金沢大学人間社会系事務部学生課 法・経済学務係 (n-hkgaku@adm.kanazawa-u.ac.jp) までお申し込みください。
- お読みになったのご意見ご感想は、上記メールアドレスまでお寄せください。